

THANK YOU ALL FOR COMING !!



HUMUN2024

2024
12
SUN

今回は 2024年 HUMUNにご参加いただきありがとうございました。今回のイベントを通じて国際問題についてこれからも関心を深めていただければ幸いです。また来年もお会いしましょう！

Day 1

2024年12月6日~8日に7度目のHUMUN（阪南大学模擬国連）が開催された。今年は神戸学院大学の学生だけでなく、高校生も参加し、総勢約90人の規模で開催された。参加者の中には緊張している人も多く見られたが、1日目の立食パーティーでは多くの学生が親睦を深め合っていた。2日目,3日目においては、「ジェンダー平等を実現しよう」の解決策を立てていた。



EDS部 顧問

Dr. Sheehan

This marks the 7th annual Hannan University Model United Nations. Each year, students build on the successes of previous events, introducing fresh ideas and innovations to create a unique and meaningful experience for all participants. This year, planning began in May, with students dedicating themselves tirelessly up to the opening ceremony on Day 1 to ensure a fulfilling and rewarding experience for everyone involved.



Day 2

程よい緊張感と共にスタート

2日目はまず、各国の情報共有が行われていた。1日目の賑やかな雰囲気とは異なり、いい緊張感をもって会議を進めることが出来ると参加者の声があがっていた。



Day 3

作業没頭！追われる時間

3日目の中盤から参加者の疲れが見えたが、どのルームも諦めずに意見を出し合い、各国が協力し解決策を出している姿が非常に印象的であった。





日本語

異なる視線からの意見

『グループ内では、素直に意見交換でき、繊細なトピックであるジェンダー問題について話し合うことが出来ていると思います。話し合う過程で、男性/女性で違う視点から問題を見ることが出来ています。』と参加者は語っていた。



ミックス

充実した議論の場

『チェアへのサポートもあり、大学生や高校生が積極的に参加し、意見を活発的に言い合うことが出来ています。現在は、同性結婚に関して各国が納得できる案を作成するのに苦戦していますが、充実した空間です。』と話していた。



英語

英語での議論に奮闘

初めての参加者も積極的に議論に参加していた。英語で表現する難しさはありながらも、『柔らかい雰囲気落ちていて話すことが出来ました。トピックが普段から耳にする内容だったので、議論に入りやすかったです。』と参加者は話していた。



LEGO

創造力で問題解決

レゴを用いて積極的に議論が行われた。『高校生も含め、活発に会話ができて良い雰囲気です。最初は、発表が苦手でしたが、成長の機会と感じています。レゴを通じて考えを表現し、他の人の表現の仕方を知るのが楽しいです！それがレゴルームの魅力だと思います。』と話していた。



EDS部員より

HUMUN（阪南大学模擬国連）にご参加いただき、ありがとうございます。EDS部一同、お礼申し上げます。皆さんのアイデアや取り組む姿勢に私たちもすごく刺激をいただきました！これからも本イベントを通じて意見交換や新たな視点を学ぶ場を提供できればと考えております。皆さんのさらなるご活躍を心より応援しております！



EDS部 代表
戸島 愛理

ご参加いただき、ありがとうございました！今年は、神戸学院大学の学生さんだけでなく高校生の方も参加していただき、総勢90人の参加者の方でHUMUNを開催することが出来ました。部員、ご参加いただいた皆様、先生方、全員のご協力あっての成功だと思います。私にとっては、最後のHUMUNですが、引き続き、阪南大学模擬国連並びにEDS部をよろしくお願いいたします。



EDS部 副代表
野原 万由果

3日間ありがとうございました。今年も副代表として、1年間HUMUNを準備してきましたが、今年も全員で3日間の走りぬくことができ、凄く嬉しく思っています。ご参加いただきまして、ありがとうございます！来年もぜひまた皆さんとお会いしたいと思います！EDS部一同、心よりお待ちしております！

